

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol. 9  
2009. 12月号



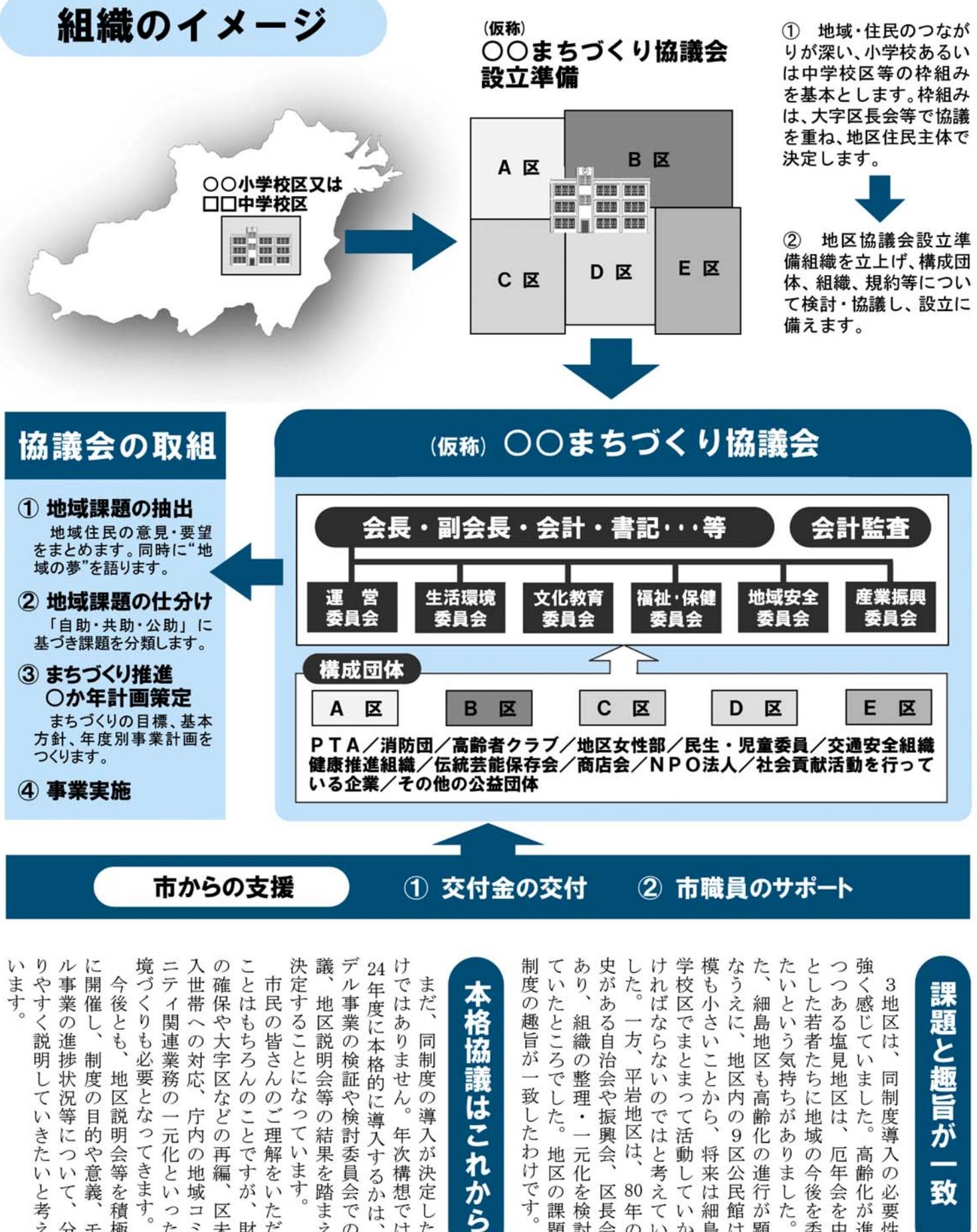
### 地域コミュニティの活性化で「協働のまちづくり」!!

去る 11 月 16 日（月）、日向市文化交流センターで、日向市・（財）自治総合センター主催の『地域コミュニティ活性化シンポジウム』を開催しました。「今なぜ、地域コミュニティの活性化なのか？」と題して行った同事業には、約 800 名の市民が参加し、基調講演やパネルディスカッションに耳を傾けました。住民が主役のまちづくりの実現のため、協働が果たすべき役割を説くパネリストの言葉に大きく頷く参加者の姿が非常に印象的な事業でした。



- P 2～4 特集／「新しい地域コミュニティ組織制度」導入構想
  - 塩見・細島・平岩をモデル地区に決定
- P 5 協働へのアプローチ／市民まちづくり支援事業
  - 平成 21 年度下半期審査結果公表 ○上半期実施報告
- P 6～7 市民協働課掲示板／『ひまわり日記』
- P 8 元気印！／日向市東郷町若山牧水顕彰会

## 組織のイメージ



10年後、20年後を見据えた「持続可能な」安心して住み続けることのできるまちの創造」と地域内分権などを主な目的として、昨年度、府内プロジェクトチーム及び日向市長公民館長連合会を主体とする検討委員会を設置し、現在ある区公民館を越えた、新たな「地域コミュニティ組織制度」の導入について検討・協議を重ねています。

その背景には、「地方分権の進展」や「少子・高齢化社会の到来」、「地域コミュニティ機能の低下」、「行政改革への対応」といった、地方を取り巻く厳しい状況があります。また、この制度の導入の検討の直接のきっかけとなつたのは、東郷町との合併に伴う「東郷町地域自治区」の設置と、「新しい日向市総合計画」の策定です。それらの背景を克服し、目的を達成するためには、新総合計画の基本理念である「市民との協働」と「地域力の活用」による「協働のまちづくり」を推進していくことが必要であり、とりわけ、最も身近な協働のパートナーである地域コミュニティの活性化と自立化を図つていくことが重要であると考えています。

中学校区単位を基本に区公民館が主導となって様々な市民活動団体等と連携して「まちづくり協議会」を設置します。そして、地域課題の抽出、地域課題の仕分け、事業計画書の策定、事業実施といふ連の流れで地域課題の解決を図つていこうという制度です。しかし、同制度の全市域への本格導入にはクリアしなければならない課題も多く、また、一齊に導入することはリスクが高いことになりました。9月にモデル地区の募集を行った結果、塩見、細島及び平岩の計3地区から応募があり、協議の結果、3地区をモデル地区として選定しました。

## 「新しい地域コミュニティ組織制度」って何だろう？

それらを具現化する手法として、平成の大合併以降、全国の多くの自治体が設置、試行又は検討している「新しい地域コミュニティ組織制度」とは、どのようなものでしょうか。

## 3. これまでの経過

平成21年	7月～	府内プロジェクトチームを設置し、調査・研究（これまで5回開催）
12月～		区長公民館長連合会を主体とする検討委員会を設置（これまで7回開催）
平成22年	6月	区長公民館長連合会への説明
6月～	7月～	地区説明会（旧市域9地区で開催）
7月～	9月	地区座談会（旧市域5地区で開催）
9月	11月	モデル地区募集
		モデル地区決定（これまで、兵庫県宝塚市をはじめ4市1町を視察）

## 1. 制度導入検討の背景

## ■地方分権の進展

地域内分権の推進策として、県内では、宮崎市、都城市、西都市、日南市が本市構想に近い組織を設置又は一部地域で試行

## ■少子・高齢化社会の到来

## ■地域コミュニティ機能の低下

- 【本市の現状】・区加入率 82.6% (50%台の区も)
- ・92区の内 35区が 100世帯未満
- ・高齢化率 23.1% (区長などの後継者問題やリーダー不足が深刻に、山間部では限界集落化の懸念)

## ■行財政改革への対応

## 2. 制度導入の目的

- 10年後、20年後を見据えた「持続可能な安心して住み続けることのできるまちの創造」
- 「制度導入検討の背景」の克服

## ■地域内分権の推進

権限・予算・責任の一部を地域に→地域コミュニティの活性化・自立化

## 4. 制度導入の年次構想

平成22～23年度	モデル事業実施 (2か年間、3地区での成果と課題を検証)
平成24年度	協議の整った地域から「(仮称)まちづくり協議会」を設置 (モデル地区はそのまま移行) 上部組織（例：連合会）設置 全市域に「(仮称)まちづくり協議会」を設置
平成27年度	

# 協働へのアプローチ



▲公開プレゼンテーションでの1コマ



▲今年がいよいよファイナルとなる日向キャンプ!



▲プロ顔負けの「はなし」を披露することも落語家たち



▲初年度は20名の子どもたちが入学しました

# 平成21年度 目向市民まちづくり支援事業

## 下半期採択事業の審査結果を公表します

平成21年度下半期の「日向市市民まちづくり支援事業」には、地域づくり系に4事業、イベント系及びその他の事業に4事業の計6事業の企画が提案されました。これらの提案事業について、市民主体の13人の審査員からなる審査会で厳正なる審査が行われ、すべての事業が採択されました。こでは、それらの事業についての審査結果を公表します。

部門	No.	団体名	事業名	総事業費	補助金申請額	補助金採択額
地域づくり系	1	平岩振興会	日豊海岸(お倉ヶ浜、金ヶ浜)の自然を活かした地域活性化事業 ～平岩地区まちづくり事業～	400,000	300,000	244,000
	2	日知屋中央商店会	第4回花いっぱい夢街道 日知屋地区市民植栽	350,000	150,000	114,000
	計	2団体	2事業	750,000	450,000	358,000
その他の事業及び イベント系	3	ひむかあかりアート展 実行委員会	ひむかあかりアート展・宵祭り 2009	508,500	220,000	150,000
	4	どうぶつの命を守る 「日向の会」	人と動物がともに暮らせるまちづくりをめざす事業	350,000	150,000	111,000
	5	山田会	映画「おとうと」先行上映会	2,176,000	600,000	543,000
	6	欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ実行委員会	欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ2010受入事業	4,850,000	2,425,000	1,754,000
	計	4団体	4事業	7,884,500	3,395,000	2,558,000
	合計	6団体	6事業	8,634,500	3,845,000	2,916,000

今年度、創設4年目を迎えた「日向市民まちづくり支援事業」。7月に募集を開始した下半期募集に対し、地域づくり系事業に2事業、イベント系及びその他の事業に4事業の応募がありました。審査会での公開プレゼンテーションや書類審査等の結果、すべての提案事業が採択されることとなりました。

## 新たな挑戦と恒例事業

今回、提案された6事業の内、新規事業は1つのみという結果になりました。前年度の2事業から減少する結果となりましたが、この要因としては、①上半期に10事業もの新規事業が誕生したこと、②日向市ひまわり基金事業・市民活動助成事業を活用した新規事業が5事業あつたことなどが考えられます。(同事業については、6ページ「ひまわり日記」を参照)

一方、既存事業については、過去に13回の上映会を成功させていた「山田会」や、今回6回目のキンゼンズ開催となる「欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ」が5事業あつたことなどが考えられます。(同事業については、6ページ「ひまわり日記」を参照)

平成21年度の上半期支援事業で採択された21事業の内、現在も継続中である通年事業や新型インフレンザの影響で延期されている事業、また、中止申請のあつた2事業を除く12事業が事業を終了しました。

今年は、前述の新型インフレンザの影響などで、事業実施にあたり例年以上の準備が必要となつた団体も多かつたようですが、新規事業3事業や拡大事業3事業も無事に事業を成功させたなど、「元気で活力ある協働のまちづくり」が実践されました。

今年度から新たに開催された「お笑い発祥の地・宮崎（ひむか）の国こども落語全国大会」では、

## 上半期事業実施状況を報告します

平成21年度の上半期支援事業で採択された21事業の内、現在も継続中である通年事業や新型インフレンザの影響で延期されている事業、また、中止申請のあつた2事業を除く12事業が事業を終了しました。

今年は、前述の新型インフレンザの影響などで、事業実施にあたり例年以上の準備が必要となつた団体も多かつたようですが、新規事業3事業や拡大事業3事業も無事に事業を成功させたなど、「元気で活力ある協働のまちづくり」が実践されました。

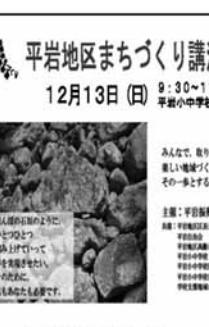
今年度から新たに開催された「お笑い発祥の地・宮崎（ひむか）の国こども落語全国大会」では、

11都府県から30人のこども落語家が集結。2日間にわたって、日向市をお笑いで盛り上げました。同じく、新規事業として産声を上げ、現在も継続中の「財光寺農業小学校」は、県内初の取組としてさまざまなメディアから注目を集めました。市外から多くの見学者が訪れるなど、当初考えていた以上の反響があり、事業のテーマであるコミュニケーションの活性化に大きな成果を上げる団体が数多く見られました。

実行委員会の取組といった「恒例」とも言える事業が多く見られました。

## 提案事業の事業内容

【地域づくり系事業】『日豊海岸（お倉ヶ浜、金ヶ浜）の自然を活かした地域活性化事業』平岩地区まちづくり事業への取組充実を図ることとしと人材育成などを目的とした「まちづくり講演会」の開催を通じて地域活性化を推進する。



・昨年度も実施した「平岩海岸探勝道の整備」、「新春お倉ヶ浜凧揚げ大会」への取組充実を図ることとしと人材育成などを目的とした「まちづくり講演会」の開催を通じて地域活性化を推進する。



その他の事業についても、実施内容の検討やPRの促進などを通して参加者の増加に努めるなど、大きな成果を上げる団体が数多く見られました。

# ひまわり日記

～市民協働課からのお知らせ～



▲課題抽出のための「まちづくり座談会」での一コマ



◆◆◆開催日  
内参加者  
所

「夏休みエコピクニック」



**市民活動団体リーダー養成事業**  
平成21年度ひまわり基金事業には、23人の受講生が集まり、まちづくりについて学んでいます。事業創設3年目を迎える今年度は、『自分たちの見つけたまちの課題の解消のため、先進地を視察し、本市へフィードバックする』ことを行つて、自主企画事業を実施する予定です。

平成21年度ひまわり基金事業には、23人の受講生が集まり、まちづくりについて学んでいます。事業創設3年目を迎える今年度は、『自分たちの見つけたまちの課題の解消のため、先進地を視察し、本市へフィードバックする』ことを行つて、自主企画事業を実施する予定です。

現在、受講生の皆さんは、共通のテーマを持つメンバーごとにグループを作り、自分たちの選定したテーマごとに先進地への視察を行つて、自主企画事業を実施する予定です。

今後、各グループが視察研修で学んだことを持ち寄り、『日向市へのフィードバック』を具現化します。

**エディターズノート**

興味をお持ちの方は、お気軽に市民協働課までお問い合わせください。

この外の皆さんが参加してくださいます。貴重な機会だと思いますので、皆さんもぜひイベントにご参加ください。

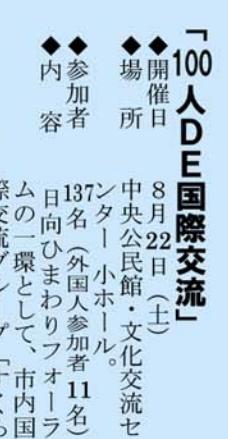
◆◆◆開催日  
内参加者  
所

ア・ナイト



◆◆◆開催日  
内参加者  
所

「ワールド・ビール＆トリビ



▼表紙の「地域コミュニティ活性化シンポジム」には、本当に多くの市民の皆さんに参加していただきました。『自分たちの住む地域を盛り上げていきたい』という市民の皆さん熱い思いを感じました。▼国際交流を担当して3年目になりますが、最近のイベントには本当に多くの外国人の皆さんのが参加してくださいます。貴重な機会だと思いますので、皆さんもぜひイベントにご参

編集後記

日向市国際交流まちづくり推進協議会では、国際交流ボランティアを募集しています。募集する内容は、通訳、文化紹介・指導、各種交流、ホストファミリーの4分野です。登録は無料で、語学力等の必要資格もありません。登録いいただきました方には、協議会主催イベントの案内等を送付させていただきます。現在、60名の方に登録をいただき、本市の国際交流推進のためお手伝いいただいています。

# ひまわり日記

～市民協働課からのお知らせ～

部門	No.	団体名	事業名	総事業費	補助金申請額	助成金交付決定額
市民活動助成事業	1	聖和流空手道	2009年第21回日向灘空手道大会	520,000	100,000	70,000
	2	THE CIRCUS	THE CIRCUS	318,976	100,000	80,000
	3	日向台E Mボカシ普及委員会	E Mボカシ肥料の推進	306,360	100,000	100,000
	4	特定非営利活動法人日向みんなの図書館	NPO法人日向みんなの図書館設立1周年事業「武田美穂とお化けをつくろう!」	166,700	83,000	74,000
	5	魅力のまち発掘プロジェクト	まちなかハロウィン2009	400,000	100,000	100,000
	6	まちなかハロウィン2009実行委員会	まちなかハロウィン2009	604,034	100,000	100,000
	7	日向商工会議所青年部	日向市職場体験学習事業	280,000	100,000	80,000
	8	日向商工会議所女性会	100万人のキャンドルナイトひゅうがの灯り2009	216,110	100,000	90,000
計		8団体	8事業	2,812,180	783,000	694,000



▲すっかり秋の風物詩となった『まちなかハロウィン』。今年多くの参加者を集めました。

今年度も残すところ、あと4ヶ月となりました。新しく事業に取り組もうとお考えの皆さん、お気軽に市民協働課まで相談してください。申請件数も、前年度の10事業に早くも届く勢いです。

同事業の特徴として、「新規事業への助成金の交付」といった側面がありますが、今年度もこれまでに6事業の新規事業が誕生しました。申請件数も、前年度の10事業を取り下げた1事業を除く8団体に早くも届く勢いです。

## 市民活動助成事業中間報告

平成21年度の市民活動助成事業を募集しています！

11月末日現在、同事業への申請はありません。

NPO法人設立支援事業

平成21年度の市民活動助成事業を募集しています！

「誰かの役に立つことがしたい」、「地域のコミュニティを再生したい」などの思いで活動している団体等が新たに特定非営利活動法人（NPO法人）を設立する場合、それらに要する経費の一部を助成する制度が「NPO法人設立支援事業」です。

ひまわり基金事業では、公益的な市民活動団体が取り組む、まちづくり（環境美化、防犯、防災、住民間交流など）、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対する助成を行っています。助成の額は、事業を実施するため必要な助成対象経費の2分の1以内とし、同事業推進協議会で審査の上、1事業あたり10万円を限度として交付します。

申請の要件は、①公益性・公開性のある事業であること、②市内で実施されること、③市から同様の助成・補助を受けていないこと、④1団体、当該年度1回限りで、1か月前までに申請を行つてください。なお、事業実施残りわずかとなつてきました。詳しくは、「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください。

平成21年度の事業募集期間も残りわずかとなつてきました。詳しくは、「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください。

平成21年度の事業募集期間も残りわずかとなつてきました。詳しくは、「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください。

該年度にNPO法人設立登記が完了する予定であること、②設立する事務所の所在地及び代表者の住所又は居所が市内にあること、③設立しようとするNPO法人の主たる事務所の所在地及び代表者の住所又は居所が市内にあること、④設立するNPO法人設立支援事業」です。



▲さまざまな取組を応援！

助成額は、1事業あたり20万円以内とし、1団体につき1回限りとなります。申請の要件は、①当該年度にNPO法人設立登記が完了する予定であること、②設立する事務所の所在地及び代表者の住所又は居所が市内にあること、③設立しようとするNPO法人の主たる事務所の所在地及び代表者の住所又は居所が市内にあること、④設立するNPO法人設立支援事業」です。

協議会では、国際交流ボランティアを募集しています。募集する内容は、通訳、文化紹介・指導、各種交流、ホストファミリーの4分野です。登録は無料で、語学力等の必要資格もありません。登録いただいた方には、協議会主催イベントの案内等を送付させていただきます。現在、60名の方に登録をいただき、本市の国際交流推進のためお手伝いいただいています。

興味をお持ちの方は、お気軽に市民協働課までお問い合わせください。



## 日向市東郷町 若山牧水顕彰会

所在地 日向市東郷町坪谷1271  
代表 東村吉市さん  
連絡先 68-9511(事務局長・那須さん)

私たち「日向市東郷町若山牧水顕彰会」は、郷土の歌人・若山牧水をはじめ、郷土の文人を顕彰することで文学的業績の研究を深め、自己の向上に努めるとともに、短歌文学の普及、教育文化並びに観光振興に寄与し、郷土の発展に寄与することを目的として、昭和26年に設立した団体です。現在、350名を超える会員が所属し、若山牧水記念文学館・牧水生家の管理運営や牧水祭運営、短歌文学に関する企画事業や若山牧水等に関する市民講座の開催など、さまざまな取組を通して、日向市を全国へと情報発信しています。今年度は、牧水と妻・喜志子の県内初となる「夫婦歌碑」を建設するなど、文化の香る日向市のPR活動にも取り組みました。

来年の2月6日(土)から3月22日(月)まで、宮崎市の県総合博物館で「歌人若山牧水展」が開催されます。ぜひ、ご覧ください。



▲示の様子  
若山牧水記念文学館の展



▲牧水の命日に開催される  
牧水祭



▲日向市駅前交流広場の牧  
水歌碑

## 平成22年度 日向市市民まちづくり支援事業 上半期事業の募集が始まります!!

市民主体による「元気で活力あるまちづくり」を推進するため、市民の皆さんのが知恵を出し合い、地域の特色を生かして自ら企画し運営する『まちづくり支援事業』。平成22年1月から、平成22年度上半期の募集を開始します。

市民まちづくり支援事業審査会で採択された事業に対して、補助金を交付します。

### ●応募できる団体

- (1) 市内に活動拠点を有する非営利活動団体(NPO法人・市民団体、ボランティアグループ、自治会等)であること。
- (2) 5人以上の会員で組織していること。
- (3) 組織の運営に関する規約等があること。
- (4) 宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと。
- (5) 暴力団の構成員が、団体の役員となっていないこと。

### ●募集事業の内容

- (1) 市又は市内特定地域(以下「市・地域」という。)の活性化又はコミュニティの醸成につながる事業
- (2) 市・地域の特色を生かした事業
- (3) 市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業

### ●事業の部門及び補助率、補助金交付限度額

- (1) 地域づくり系事業(特定地域での環境美化、防犯、助け合い等のコミュニティの活性化及び醸成につながる事業)

#### ①一般事業

◆補助率 3/4以内 ◆限度額 50万円

#### ②モデル事業

◆補助率 10/10以内 ◆限度額 50万円

※モデル事業枠の採択件数は、2事業以内とします。

- (2) イベント系事業及びその他の事業(市内全域対象の祭り、スポーツ大会、講演会、文化芸術の発表会、展覧会のイベント)

#### ①一般事業

◆補助率 1/2以内 ◆限度額 500万円

#### ②伝統的事業

◆補助率 1/2以内 ◆限度額 500万円

※伝統的事業の対象は、市内において概ね50年以上継続して開催され、将来にわたり継承すべき伝統的イベントとします。

### ●対象事業

- ①平成22年上半期(4~9月)に実施する事業
- ②年間を通じて実施する事業
- ③上半期と下半期にまたがる事業
- ④下半期に実施する事業で、9月以前から準備等を行う必要がある事業

### ●提出書類

- ①事業企画提案書 ②事業計画書 ③事業収支予算書
- ④事業提案団体概要書 ⑤団体の運営に関する規約等
- ⑥会員名簿 ⑦前年度事業収支決算書(活動実績のある団体のみ)

### ●募集期間

平成22年1月12日(火)~平成22年2月12日(金)

### ●提出及び問い合わせ先

事業や募集に関して不明な点がありましたら、お気軽に市民協働課(☎52-2111 内線2853)までお問い合わせください。

また、市民まちづくり支援事業補助金交付要綱(様式含む)、同募集要項並びに同審査会審査要領の全文を「協働のまちづくり」ホームページに掲載していますのでご覧ください。

詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください!

**日向市 協働のまちづくり**

検索